高
（第３種郵便物認可）

高知女子大

ガーナでエイズ対策
卒業生の南口さん授業

母校で授業を行う南口さん＝右上（高知市の高知女子大）

「見て見ぬふりしないで」

高知女子大学の卒業生で今年九月に青年海外協力隊員の任期を終えアフリカ・ガーナから一時帰国した、南口（なんこう）美佳さん（二八）＝兵庫県西宮市出身＝が三十一日、同大池キャンパスで授業を行った。ガーナの障害者を取り巻く現状に触れながら「見て見ぬふりをしないで」と後輩たちに呼び掛けた。

南口さんは平成十五年、同大社会福祉学部を卒業。イギリス留学などを経て十八年九月から、ガーナでエイズ対策や感染予防などに取り組んでいる。

南口さんは授業で、ガーナの障害者の現状を描いたドキュメンタリー映画を流し、「ガーナでは人口の一割に当たる二百万人が障害者。仕事にも就けずにいる。でも意欲的に生きようとしている人もたくさんいる」と強調。壁のない学校、路上に垂れ流しになっている生活排水などインフラが整っていない現状を写真を使って説明した。

最後に南口さんは「言葉が通じなくても分かり合えます。共感する気持ちを大事にしてください」と呼び掛け、学生たちは「これからは自分が本当にやりたいことを考え勉強やボランティアをしたい」と話していた。

南口さんは、青年海外協力隊員の支援や調整を行う国際協力機構のフィールド調整員として、来年一月から再びガーナに向かうという。（上野芙由子）

2008年11月1日（土）
高知新聞